

♪K.M.C.通信♪ 2020-No. 2

2019.12.15 発行

♪2020年公演に向けた練習が始まりました。

練習回数が限られていますので、1回1回の練習を大切にしていきたいと思います。練習を欠席した時には必ず、以下のリンクかCDで録音を聴いて、内容を把握して下さい。

《<http://musica-fons.info/KMC/Members/PracticeRecording2020.htm>》

♪今後しばらくの間(概ね1月いっぱいまで)の本練習の進め方

声出し後、「ドイツレクイエム」を1時間弱練習

事務連絡後、小休止を挟んで「ドイツレクイエム」の続きを1時間弱練習

再び小休止して「アルトラプソディ」を30分程度練習

♪2月までの練習会場が決定しました。

予備練習①	1/12(日)	17:00 - 19:50	稔台市民センター 第2ホール
本練習③	1/19(日)	17:00 - 19:50	稔台市民センター 第2ホール
予備練習②	1/26(日)	17:00 - 19:50	稔台市民センター 第2ホール
本練習④	2/2(日)	17:00 - 19:50	女性センターゆうまつど ホール
本練習⑤	2/9(日)	17:00 - 19:50	女性センターゆうまつど ホール
本練習⑥	2/16(日)	17:00 - 19:50	女性センターゆうまつど ホール
予備練習③	2/23(日)	17:00 - 19:50	女性センターゆうまつど ホール

参加者はまだまだ募集中です。友人知人をお誘い下さい。募集チラシもご活用下さい。

【楽譜と音取りCDの訂正】

「アルトラプソディ」楽譜 (Breitkopf 版)

130小節 3,4拍目、Bass2は2分音符になっているが、4分音符2つに訂正。

(歌詞が「(ü-)ber die」と2音節あるので…)

なお事務局作成の音取り音源も2分音符になっています。ご容赦下さい。

♪練習メモ♪

本練習① 2019.11.23 ゆうまつど

ドイツレクイエム 第1曲

- ・歌い出し、自分の音程を前もって頭に置いて、揺れずにまっすぐ入る。指揮の打点は母音に当たるので、「Selig」の子音“S”はその前に。ただし過度に重くならない。
- ・16小節 Alt.の Es 音によって三和音→七の和音に変わることを感じて。
- ・21小節で a-moll (イ短調) に変わる。和音と調性の変化をいつも意識して。
- ・47小節はその前の F-dur (ヘ長調) のカデンツが解決せずに Des-dur (変ニ長調) に行く。

ドイツレクイエム 第7曲

- ・42小節 “spricht” 語尾の “t” が4拍目の4分休符に来るように。
- ・男声、56小節と94小節の音程の違いに注意。(その前が同じなので混同しないように)
- ・115小節3拍目 Sop.の As 音はとても重要。bの世界に入る。

アルトラプソディ

- ・先立つ Alt. ソロは、傷ついた心を抱えて旅する姿を歌う。そして神に癒しを祈り求める所で C-dur (ヘ長調=神の秩序と調和の象徴) になり、男声合唱が入る。
- ・“Psalter” “Vater” など語尾の “er” は巻く。

※ 通信に載せる練習メモは、本練習でやった内容の抄録です。網羅していない部分は録音を聞いてご確認下さい。